

令和4年第1回 龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会全体会

日 時：令和4年7月11日（月）

午後2時00分から

場 所：龍ヶ崎市役所5階全員協議会室

次 第

1 開 会

2 市長挨拶

3 委員紹介

4 議 事

（1）会長，副会長の選任

（2）龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会の概要について

（3）部会組織・活動内容および部会割振りについて

（4）今後のスケジュールについて

5 その他

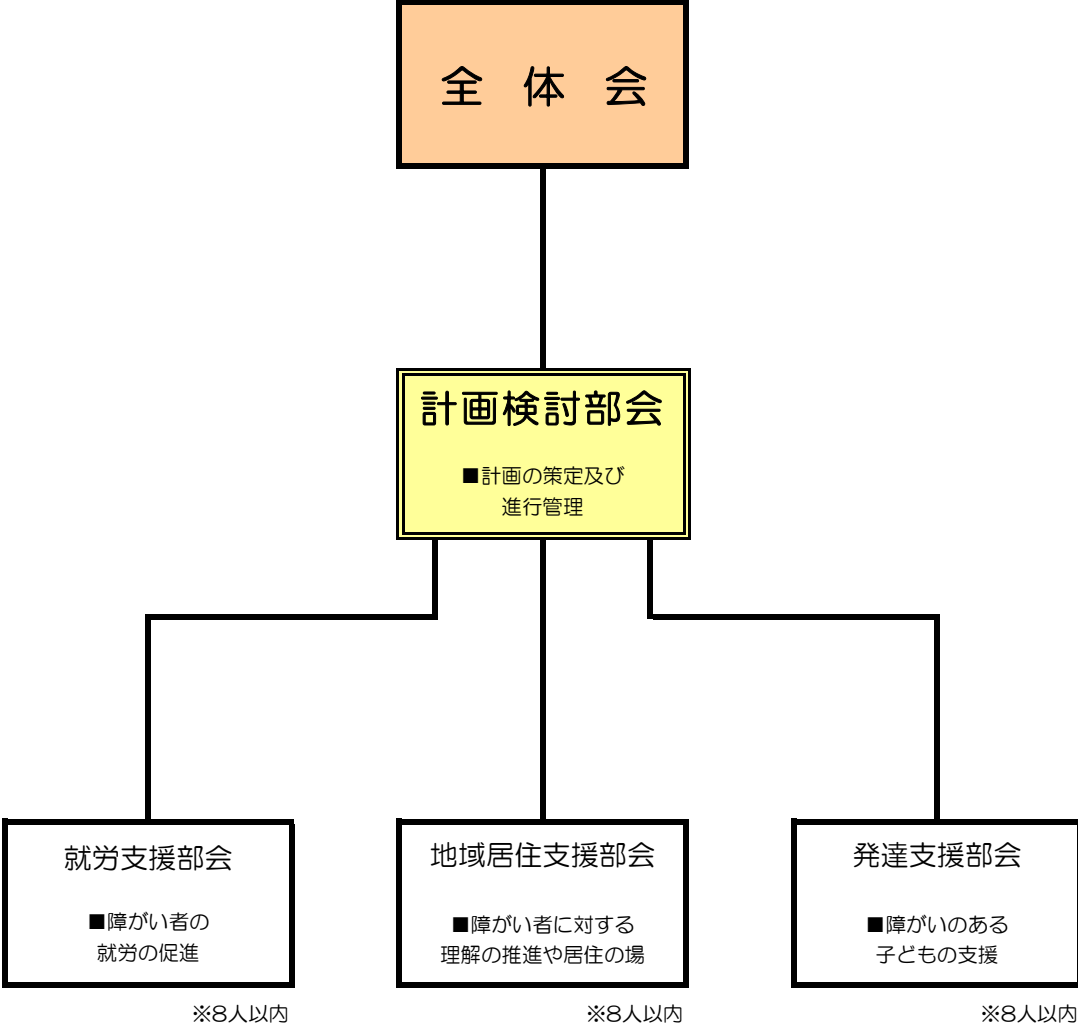
講 演

「聴覚障がい者の真の障がいについて」

社会福祉課 手話通訳士 佐藤 たまき

6 閉 会

令和2年度 龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会 組織図 (案)



	令和4年7月～令和5年3月								
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会		■第1回 ■会長、副会長の選任 ■部会割振り						■第2回 ■各部会からの報告	
計画検討部会				10月 第1回 計画検討部会：アンケート素案・進行管理					
						アンケート発送12月予定			
就労支援部会						■部会長と調整のうえで随時開催（年間2回程度）			
地域居住支援部会			9月 第1回 就労支援部会						
			9月 第1回 地域居住支援部会						
発達支援部会			9月 第1回 発達支援部会						

【 聴覚障害の真の障害について 】

社会福祉課 手話通訳士 佐藤 たまき

《聴覚障がい者とは》

＜ろう者＞ 先天性聴覚障がい、若しくは日本語を獲得する前に失聴した方々。
手話で考え手話で語る、ろう文化をもつ少数言語者という言われ方もある。
第一言語(母語)が手話のため、日本語(書記日本語)は第二言語となる。
日本語教育は音声日本語で受けている方が多く、筆談への苦手意識が大きい方もいる。

＜難聴者＞ 補聴器を使用してろう学校ではなく、地域の学校へ通い、音声で話す方が多い。
聞こえ方に個人差が大きく、補聴器または人工内耳を使用しても、もともとの聴覚障害
(例 音の欠損・歪み等)は残るので全てを聞き取れているとは言い難い。
相手に、・聞こえている・話が伝わっていると思われやすいため、誤解されトラブルになる
ケースが少なくない。

＜老人性難聴＞

補聴器を使用されていてもやはり完全に聞こえているわけではないため、
大きな声でゆっくり伝えたとしても、音声による会話だけでは難聴者同様、誤解され
トラブルになるケースが少なくない。

＜中途失聴者＞

・失聴した年齢 ・聞こえの程度 ・生育環境 等の要因により、コミュニケーション力の
個人差が非常に大きい方々。 確実に伝えする手段はやはり筆談。

《 筆談のポイント 》

(例1) 「中 と ろ 」 学んだ記憶はありますか？
(例2) 黒い目のきれいな女の子 思った通りに伝えられますか？

- ・重要なことは先に伝え、説明は後に。 ～外国語同様 S+V+O+C～
- ・簡潔にシンプルに。 ～箇条書きや番号をふるのも効果的～
- ・丁寧語、遠回しな言い方はしない。
- ・二重否定はしない。(例)障害でないとは言えない→障害かもしれない。(まだはっきり)わからない。
- ・複雑な話はよりシンプルに。 ～Yes/No で答えられるような形→チャート式なども有効的～
- ・?! マークや OK/NG O/x 等のジェスチャーで、確認しながらスピードアップを図れる

《 気付かない生活音について 》

- ・補聴器のハウリング ・スマホ/携帯音 ・ドアを閉める音 ・スリッパの足音 等